

# たはら

TAHARA  
History Inquiry Club

## 歴史探訪

### クラブ 其の52

「こころのたからもの」

やはり、「たからもの」の価値判断には「わたし」という主語が必要です。今回は、近ごろ気になる「わたし」の「たからもの」をご紹介します。

#### 白谷集落の景観

傾斜地に石灰岩を使った石垣を積み、階段状に宅地を建てて巧みに集落を形成しています。海岸に下りる細い道が漁村であったことを示しています。母屋と長屋の板壁の風合、石垣の白、道との調和がよい感じですね。また、写真には写っていません



大久保町浅場集落の景観

が、石灰岩の採掘場跡も独特の景観の一端を担っています。

#### 大久保町浅場集落の景観

ホソバ（イヌマキ）の生垣と家屋、そしてその周囲の石組水路を流れる水が、落ち着いた佇まいを見せています。



白谷集落の景観

西浦のクロマツ林  
市内で仁崎とともに残る白砂青松の痕跡です。幹には、戦時に松油を採取した矢の羽根状の痕跡が残っています。ここには、かつて戦争が存在したという事実が刻まれています。

そのほか、「大根

のはざかけ（生産農家にとっては大変な作業ですが、風の強い地勢を利用した知恵です）、「加治集落のホソバ（イヌマキ）の生垣・火の見櫓」「華山が評した表浜の「金屏風」「武家屋敷のツバキの生垣」などが気に入っています。何の変哲もないものもありますし、そう言えば…、というものもあつたのではないのでしょうか。

これらの風景には、人の営みや、この地域の個性豊かな自然との対話による調和が背景にあります。人々の思いとともに、語るべき「もの」があり、それらが多ければ多いほど、そこに「美しさ」が生まれるのではないのでしょうか。

田原市では、このような地域の資



浦町西浦のクロマツ林

源となる情報の募集を開始しました（今月号の2〜3頁をご覧ください）。市民の皆さんが思う「わたし」の「たからもの」をお寄せください。どんなものが集まるか、実に楽しみです。これを機会に、「わたし」の気付かない「たからもの」が発掘され、それが地域の活性化、コミュニティの形成に大いに役立つことでしょう。

今を生きる私たちは、「みんなに伝えたい」「自分の中にいつまでもとっておきたい」…、そんな「たからもの」を見つけることのできる、素敵なまちづくりを目指したいですね。（増山）

生涯学習課 ☎ 23局 3531